

春漁情報第2報 (イサダ)

令和5年2月24日

宮城県水産技術総合センター環境資源チーム

TEL:0225-24-0139

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>



- ・令和5年2月23日に、金華山沖から気仙沼御崎沖にいたる調査ライン（水深120～140 m程度）を航行し、イサダ魚群を探索しました。
- ・漁獲の対象となるようなイサダ魚群はまだ認められませんでした。
- ・小泉湾沖及び気仙沼御崎沖で小規模な底付きのイサダの反応を確認しました。
- ・表面水温は7.9～10.8℃であり、親潮の波及はまだ弱い状況です。気仙沼御崎沖で表面水温が7.9℃、底層水温が7.7℃でした。
- ・次回の調査は来週を予定しています。

【調査結果等】

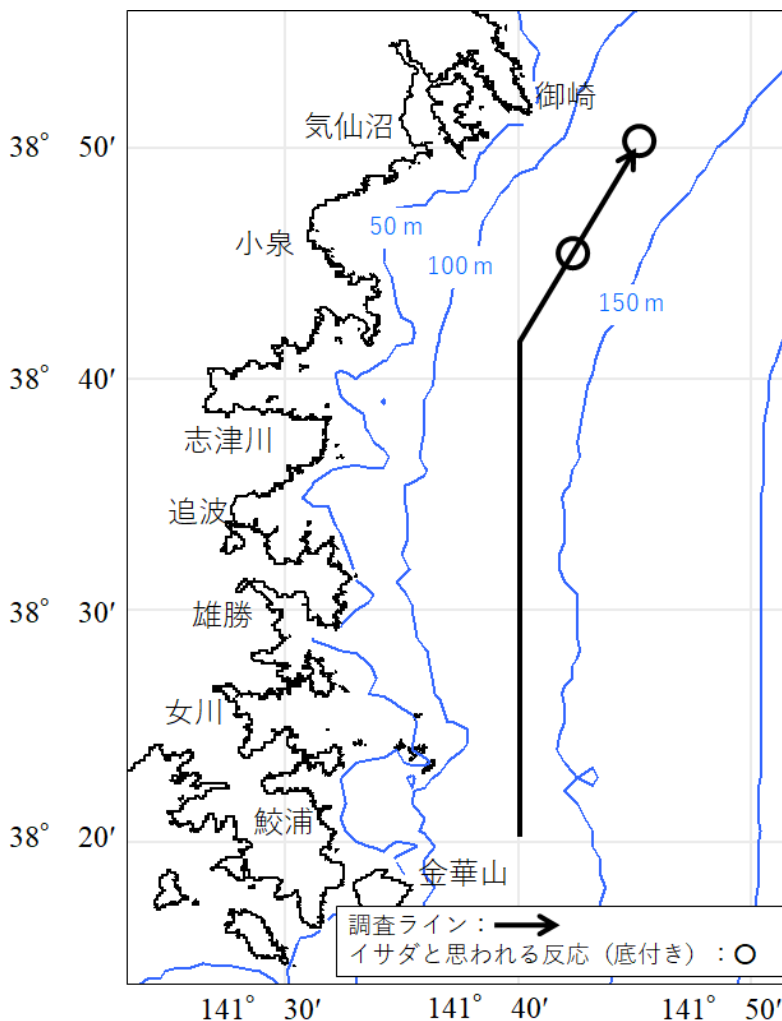
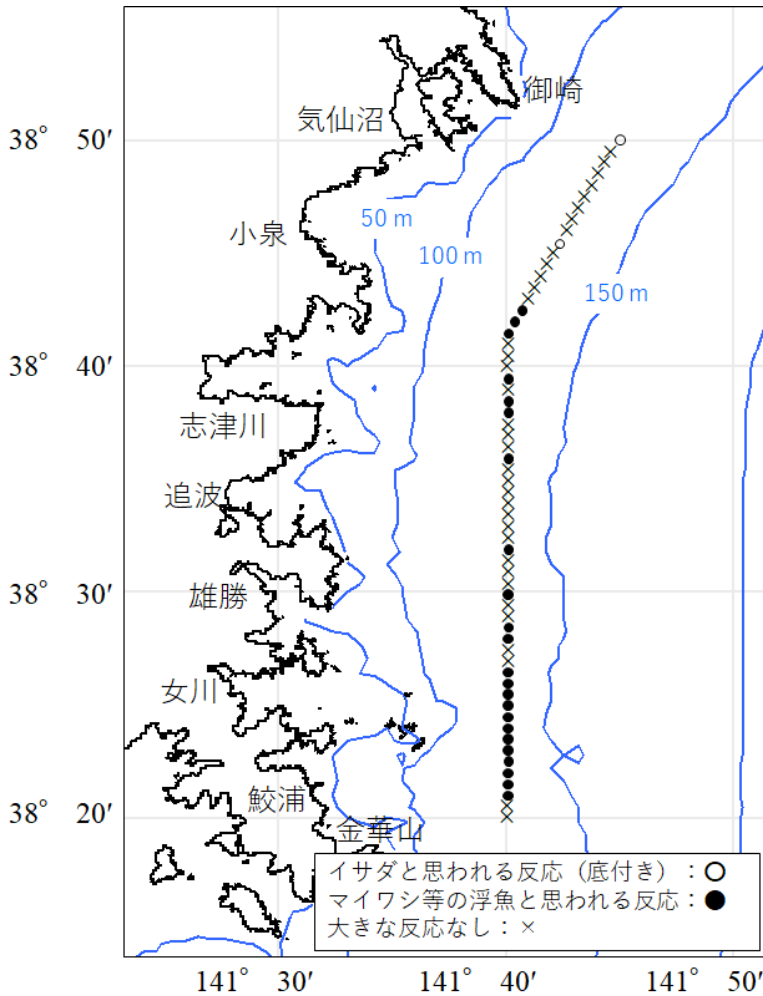


表 気仙沼御崎沖 (38° 50' , 141° 45') の海洋観測結果 (水温、塩分、透明度)

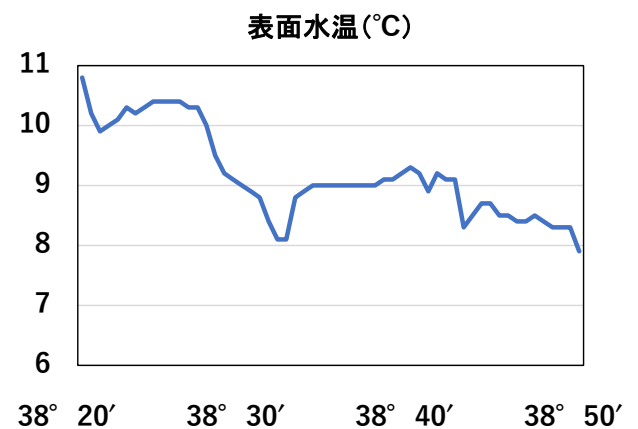
水深(m)	水温 (°C)	塩分	透明度(m)
表面	7.9	33.9	17
10	8.0	33.9	
20	8.0	33.9	
30	7.9	33.9	
40	7.9	33.9	
50	7.8	33.9	
60	7.8	33.9	
70	7.7	33.9	
80	7.7	33.9	
90	7.7	33.9	
100	7.7	33.9	
110	7.8	33.9	
120	7.8	33.9	
130	7.8	33.9	
底	7.7	33.9	

●調査ライン上で魚探に見られた反応



●調査ライン上の表面水温の分布

調査ライン上の表面水温を見ると、イサダが浮上群をつくりやすいとされる6～7℃程度の水温帯は確認されませんでした。



●今後の海況についてこまめに確認をお願いします。

海況情報はこちらをチェック

気象庁
日別海面水温

海況予測システム
FRA-ROMSII
(水産研究・教育機構提供)

JAFIC会員サービス
(漁業者のみ、要会員登録)